この街が好きだから

大須賀一雄 武蔵野スケッチ物語

見慣れた風景も、絵になるとちょっと違う趣が出てきます。
そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。

no.53

関前四丁目付近

今回の作品は、関前四丁目の千川沿いの小道で、犬の散歩で通りかかった女性を入れて描いたものである。

犬といえば、武蔵野市と友好関係を結んでいる長野県南佐久郡川上村の川上犬が有名である。川上犬は、オオカミに似た小型犬だが、数が減少しており、現在保護育成されている。

ところで、数年前にスロベニアにスケッチ旅行に行った時のこと、ディズニーアニメの「一〇一匹わんちゃん」とそっくりな白地に黒い斑点の犬がいて驚いたが、それもそのはず、この犬（ダルメシアン）の原産地がスロベニアと知り納得した次第である。

また、地中海のマルタ島に行った時、多くのマルチーズを見かけたが、マルタ島が原産地なので当然かと思った。旅の最終日に、同行者と記念撮影をした時、シャッターが切られる直前、私は思わず叫んだ。「はい、マルチーズ!!」。

（絵と文：大須賀一雄）

Profile

大須賀一雄
（おおすかかずお）

水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）、『透明水彩の世界・ヨーロッパ』および『緑』（旅もようスケッチ会）ほか。現在、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も25回を超える。